

深川社協だより

ふかわ

第49号
2017.9.1

■編集発行 深川地区社会福祉協議会広報部会 ■発行人 向井文武



8月5日(土)に行われた「尾和夏祭盆踊り花火大会」の様子
写真提供 福田忠史氏 (深川2丁目)

今年も梅雨明け以来連日にわたって猛暑続きの夏を無事お元気に乗り切られ送日のごとお慶び申し上げます。

皆様には、平素より深川地区社協の活動に對してのご理解とご協力に感謝申し上げます。

さて、愈々高齢化の進展到来となり、深川地区にお住まいの七五歳以上のお方は六月末日現在で九三八人となりました。

広島市・市社協では、高齢者が出来る限り住み慣れた地域で生活していく為には「自助」「共助」「公助」を適切に組み合わせ、地域ごとの包括的な支援体制を充実することを目的として、左記の制度を実施されることとなりました。

「高齢者交流いきいきサロン事業」(市社協)
地域で実施している高齢者を対象とした誰もが参加でき、介護予防に資する様々な「通いの場」の活性化・拠点整備の促進として助成金が支給される、深川社協では「あんびんの会」「みつば会」「みささの会」の各サロンに各五万円(年間)受給されることになりました。

「高齢者いきいき活動ポイント事業」(広島市)
この事業は、元氣な高齢者は地域の支え手として活動して頂き介護を必要としない高齢者が出来るだけ増えるようにしていく為に、高齢者による地域ボランティア活動への参加や、介護予防・健康増進に資する活動への奨励金支給制度です。

一、制度の内容

◆活動団体がポイントを付与する対象者
九月現在、広島市に住所を有する七十歳以上の高齢者
【所得制限はありません】
【2ページに続きます】



深川地区社会福祉協議会
会長 向井文武

広島市・市社協が目指している元氣な高齢者づくりのお知らせと深川社協の取組み

「高齢者交流いきいきサロン事業」の活用
「高齢者いきいき活動ポイント事業」の活用

皆さまのご参加を心よりお待ちしております！

「敬老会」のお知らせ

深川地区社会福祉協議会では、地区内に居住される75歳以上の方をお招きして、今年も「敬老会」を開催いたします。

最初に恒例の「式典」が行われます。続いてアトラクションに入り深川小6年生や高陽中吹奏楽部の皆さんによる元気いっぱい発表があり、場内は徐々に興奮に包まれ、そして各地区女性会の出演となります。出し物は女性会が趣向を凝らしたもので、お弁当を召し上がりながら楽しいひと時を過ごしていただきますよう、ご案内いたします。



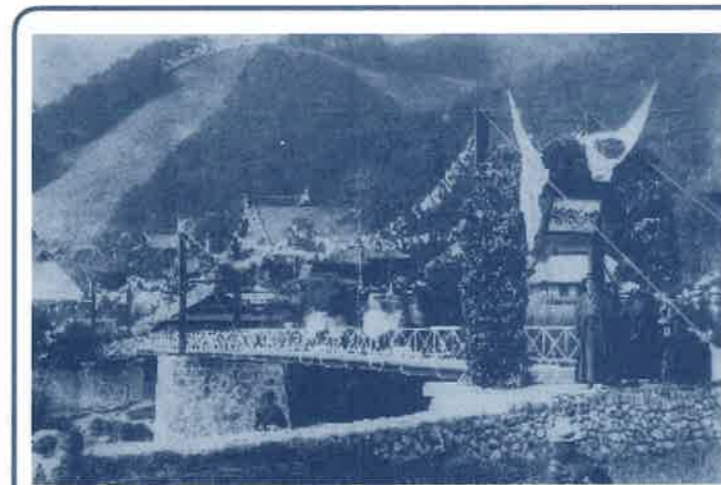
深川地区社会福祉協議会
事務局長 山口昌利

記
日時 9月18日(敬老の日)
午前11時より
会場 高陽公民館
2階ホール
会費 500円

■館内にはエレベーターがあります。ご利用ください。

地区	対象者数		
	男性	女性	計
陰地	31	39	70
奥迫	12	15	27
中郷	68	96	164
深川台	27	39	66
西塚	51	68	119
院内	38	64	102
上庄	37	72	109
下庄	38	59	97
尾和	64	85	149
総合計	366	537	903

■招待者の基準は昭和18年3月31日までに生まれた方としております。ご了承ください。



ありし日のわがまち深川 一枚の写真

大正十三年
(先代の)薬師橋の完成

その昔、三篠川に架かる「薬師橋」は木板の一本橋で洪水の度に流失し住民は困っていたそうです。

記録によりますと、当時の明光寺住職牛尾頼信の発願で時の村長山村松之助が中心となって、主に海外渡航者らの寄進による数千円の費用を投じて、渡邊佐平、武田孫助両名の設計により、延長五十余間、幅員一間の鉄骨の吊り橋が完成しました。時に大正三年、今から百三十三年前の話です。

【写真はまもなく渡り初めが始まるのでしようか、羽織袴に山高帽姿の大正モダンの男性が写っています】

写真提供 牛尾誠哉

深川地区社協役員人事のお知らせ
(平成 29 年 4 月)

- 事務局長 山口昌利
院内自治会長
- 会計 加藤洋子
上庄地区福祉委員
- 監事 小笹和子
民生委員児童委員
- 地区福祉推進委員 立川幸恵
陰地福祉委員
- 理事 西山尚
尾和自治会長
- 理事 山村佳子
民生委員児童委員
- 理事 林孝治
民生委員児童委員
- 理事 石田知子
深川台地区福祉委員
- 理事 徳田美枝
子供会育成会会長
【順不同・敬称略】

なお、この度退任されました皆様には長い間ご苦勞様でございました。今後とも社協の活動にご協力賜りますようお願いいたします。

二、ポイント付与の対象となる活動ポイント数

ポイント付与となる活動ポイント数は、概ね次の通りですが、政治宗教及び営利を目的とした活動は対象となりません。

◆地域の支え手になる活動（一回につき四ポイント又は二ポイント）

◆自らの健康づくり・介護予防に取組む活動（一回につき二ポイント）

※介護予防のための機能訓練をするデイサービス等は、介護保険サービスを利用するものなのでポイント事業の対象となりません。

三、年間ポイント数の上限

対象となる高齢者が一年間に獲得出来るポイント数の上限は、七十ポイントです。高齢者公共交通機関利用助成を希望しない方、又高齢者公共交通機関利用助成が所得制限により対象外となる方は百ポイントの上限となります。（二ポイント百円で換算）

四、ポイントの獲得期間

毎年九月一日から翌年の八月三十一日まで

五、今後のスケジュール

◆平成二十九年八月 対象高齢者へのお知らせ 手帳の送付

◆平成二十九年九月～平成三十年八月 ポイントの獲得期間

◆平成三十年九月以降 高齢者から市へポイント手帳の返送 市から奨励金の振込み

深川地区社協では高齢者いきいき活動ポイント付与団体として、応募いたしました。

皆様この制度を利用して元気な高齢者づくりと元気な高齢者になってください。

「自助・共助・公助」の力をもって介護の必要のない元気なまちづくりの推進に協力よろしくお願ひいたします。

なお、ポイント事業の詳しい内容については、活動の実施団体である、社協・自治会・老人会等から説明を受けてください。

深川の人を たずねて



今年3月、深川地区社会福祉協議会事務局長を13年間務めて退任された、清水宏輔さんをご紹介します。インタビュにお宅へ伺ったところ、「自分で書いてみましょう」とおっしゃって下さいました。本当にいろいろな経験をしてこられた大先輩だとあらためて思いました。ご趣味の登山のいでたちで写真を撮らせていただきました。

取材 山村佳子（民生委員児童委員）



私の半生を簡単に振り返って みました

清水宏輔（深川3丁目）

■東京から広島へ（昭和14～19年）
昭和14年、東京都世田谷区祖師谷で出生。19年3月家族7人東京大空襲を避けて深川へ疎開。20年8月15日終戦を迎えました。父（※）は終戦後も東京に残り、22年4月まで疎開先で生徒に授業を行っていました。



あんびんの会

（陰地・奥迫・深川台）

民生委員児童委員 山口裕子



「あんびんの会」は陰地、奥迫、深川台と三つの地区から集うので、主に奥迫集会所を使わせていただいています。少し遠くても、皆さん元気に来られ、お互いに声をかけ合っておられます。六月のあんびんの会では「紙けん玉を作って遊ぼう」という計画にしました。紙けん玉は、けん玉発祥の地である廿日市の方が、子どもから高齢者まで誰でも簡単に作られて、遊ぶのも軽くて扱いやすいと工作キットを考案されたものです。

四つのグループに分かれて、お互いに相談し合ったり、教えあったりして完成すると、次々と「できた！」と歓声があがりました。サイコロの玉がうまくカップに入ると「やったー！」とまたまた大歓声。入っても入らなくても皆さん笑顔で声を出し、楽しい時間を過ごしました。

→ 出来上がった紙けん玉



最近では「ふくろうの家」や「高陽荘」の入居者の方もおいでになることがあり、交流を深めています。来られた方が「参加してよかった」と満足されて帰られるよう世話人一同、工夫し考えたいと思います。

■富山へ就職（昭和37～39年）
海に近く、山にも近いという理由で就職先を滑川市の水産試験場に決めました。そこで「ハマチ養殖の餌の研究」に取組みました。冬の悪天候による生簀の破壊や人工餌の失敗など、いろいろ困難なことがありました。昭和38年は全国的に雪が多く（38年豪雪）雪下ろしの大変さも経験しました。

■中学校理科教師として（昭和40～平成11年）
一家9人家族の長男として、支えなければという気持ちが強くなり理科の教師として広島で再スタートしました。

■広大芸術調査隊に参加して（昭和48年12月～49年1月）
植物学、文化人類学、微生物学等各専門分野についてそれぞれ調査しました。ヒマラヤには、いろいろな変成岩があり、とても興味深く調査することができました。天にそそり立つヒマラヤの姿は神々しく今でも目に焼き付いています。1月1日、ポカラを起点にキャラバンが発発。登校中の子ども達と出会い、日本語で数字の教え方を教えたり、一緒にバレーボールをして楽しく遊びました。アンナプルベースキャンプ3千5百メートルへ無事到着。最後の夜は、キムニユの村人と夜遅くまで踊りあかしました。

■グループホームへの支援（平成14～23年）
知的障害者の方の地域での支援のためにグループホーム（我が家）を提供しました。月1回の環境衛生へも参加し、地域の皆さんからも声をかけていただきました。数年前消防法が変更になり、施設の改善に七百万円かかることと、やむなく閉鎖することになりました。今でも交流が続いています。

※清水さんの父親、清水文雄さんは（明治36年生）熊本県出身の国文学者で、和泉式部など中古文学、中世文学の研究で有名。作家三島由紀夫の才能を見出したことで知られる。

愛のともしび

深川地区社会福祉協議会に対し、福祉事業の活動にお役立て下さいと、次の方々から香典返し他のご厚志をお寄せいただきました。皆様の善意に厚くお礼申し上げます。（平成二十九年一月～七月）

- 猪足詔子 深川四丁目
 - 沢田 靖 深川八丁目
 - 山中元三 深川三丁目
 - 加藤博司 深川三丁目
 - 内藤清美 深川四丁目
 - 岡本茂久 深川一丁目
 - 牛尾誠哉 深川四丁目
 - 口村ヨシノ 深川一丁目
 - 大屋 宏 深川一丁目
 - 棚瀬千賀子 深川三丁目
 - 岡 勉 深川五丁目
 - 中村静義 深川七丁目
 - 向井高長 深川八丁目
 - 藤保勝子 深川六丁目
 - 竹縄 新 深川四丁目
 - 克邊幸夫 深川二丁目
 - 佐久間正宏 深川八丁目
 - 山村佳子 深川三丁目
 - 真木秀行 深川七丁目
 - 安井照明 深川五丁目
 - 川西智子 深川一丁目
- （受付順 敬称略）

収入の部

○繰越金	1,103,164
○会費収入	
自治会町内会連合会より	100,000
○助成金収入	
地区社協運営費	60,000
共同募金実績割金	178,030
福祉の町づくり総合推進事業	150,000
広報紙助成金	15,000
○寄付金収入	650,000
○負担金収入（敬老会参加者）	100,000
○雑収入（預金利息）	20

収入合計 2,356,214

支出の部

○会 費（区社協会費）	95,000
○事務費	65,000
○会議費	15,000
○広報費	100,000
○福祉事業費	
1) 福祉のまちづくり総合推進費	280,000
2) 区社協自主事業費	621,000
○助成金	150,000
（女性会・福寿会・青少協・体協・子供会）	
○予備費	1,030,214

支出合計 2,356,214

平成二十九年年度予算 深川地区社会福祉協議会